



こちらからも  
アクセスできます

議会だよりへの意見をお待ちしております



### 主な内容

- ◆議案審議 1・6面
- ◆一般質問 2・3・4・5面
- ◆議会の動向 3面
- ◆陳情・意見書 5面
- ◆4年間の振り返り 7面
- ◆審議結果一覧表 8面

## 第2回(6月)定例会会議

# 脱炭素社会の実現に向けて 急速充電設備の運用を改正

第2回(6月)定例会会議は、6月6日から6月23日までの18日間の日程で開催されました。  
この定例会会議では、条例の一部改正など市長提出議案等24件(うち、報告12件)のほか、議員提出議案1件、委員会提出議案1件などを審議しました。

## 議案審議

(議案審議は6面にも掲載)

### 急速充電設備の設置基準を緩和することなどを規定

議案第28号 秦野市火災予防条例の一部を改正することについて

#### ▼要旨

カーボンニュートラルに向けた大型電気自動車などの普及のため急速充電設備の設置基準の緩和など3点について、改正するもの。  
なお、この条例は公布の日から施行とするが、急速充電設備に関する改正と、その経過措置については、令和5年10月1日から施行するもの。

▼付託委員会

総務常任委員会  
委員会での主な質疑・要望  
消防用車両は、常に安全性を十分に確認すべきと考えるが、整備の状況はどうか。

### 新たな消防車両の購入で 防災力のさらなる強化

議案第30号 動産の取得について

#### ▼要旨

消防団に配置している小型動力ポンプ付積載車の老朽化に伴い、更新車両を2台購入するもの。  
▼付託委員会  
総務常任委員会

委員会での主な質疑・要望

消防用車両は、常に安全性を十分に確認すべきと考えるが、整備の状況はどうか。

### 永年勤続議員表彰

○阿蘇佳一議員(勤続35年以上)  
昭和23年生まれ。当選9回。日本維新の会。議長、副議長、監査委員、秦野市伊勢原市環境衛生組合議会議長などを歴任。鶴巻南在任



阿蘇佳一議員

○今井実議員(勤続15年以上)  
昭和26年生まれ。当選4回。自由民主党。議長、副議長、総務常任委員会委員長などを歴任。鶴巻南在任



今井実議員

6月14日(水)の全国市議会議長会定期総会において、阿蘇佳一議員が勤続35年以上、今井実議員、佐藤文昭議員が勤続15年以上の表彰を受けました。(掲載は、勤続年数・議席順)

○佐藤文昭議員(勤続15年以上)  
昭和27年生まれ。当選4回。日本共産党。文教福祉常任委員会副委員長、環境農水常任委員会副委員長などを歴任。東田原在任



佐藤文昭議員



高出力の急速充電設備



小型動力ポンプ付積載車

▼採決の結果  
委員会 原案可決(賛成全員)  
本会議 原案可決(賛成全員)

▼採決の結果  
委員会 原案可決(賛成全員)  
本会議 原案可決(賛成全員)

真夏の花ヒマワリが元気良く咲いて絨毯の様です(撮影者・栗原正行さん)



# 一般質問



一般質問は、6月16日、19日、20日の3日間で、18人の議員が登壇しました。一般質問は、2面から5面に掲載しています。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載) 各議員の記事にある二次元コードを読み込むと、一般質問の動画を視聴できます。(通信費は利用者の負担となります。)



## 早期に戸川土地区画整理事業を実現し新たなまちづくりを

自民党 相原 學

### 一 産業利用促進ゾーンと周辺整備の進捗状況について

産業利用促進ゾーンと、関連事業である都市計画道路や矢坪沢水路整備事業について、現在の進捗状況はどのような状況ですか。

答 産業利用促進ゾーンについては、関係機関と行ってきた協議が令和5年3月に終了しました。これにより事前調整が全て終わり、4月14日に県に対して、産業利用促進ゾーンを市街化区域に編入するための都市計画案の申し出を行った。また、都市計画道路と矢坪沢水路整備事業については、3年度から4年度にかけて、用地測量や路線測量を実施した。現在は、工事の発注に必要な資料を作成するための詳細設計委託業務について、8月末を工期として進めている。

望 望 事業の実現が目前となってきたため、地域貢献や地域活性化、雇用や税収増加など、スマートインターチェンジを活用した新たなまちづくりが実現できるよう、本市の発展につなげてほしい。



## 学校給食の残渣を通して環境教育の推進を

自民・新政 風間 正子

### 一 災害時の避難支援について

災害時に自力での避難が困難な避難行動要支援者が効果的な支援を受けるためには、個別避難計画の作成が重要である。作成には、本人と関わるケアマネジャーなどの専門職との連携が必要不可欠であると考えるが、福祉専門職との連携について、考えはどうか。

答 令和5年2月に曲松11自治会で実施したモデル的な個別避難計画の作成では、地域関係者やケアマネジャーが参画したことで、効果的な話し合いができ、本人の信頼や安心を得ることにつながった。今後、福祉専門職に協力を要請し、計画の作成に参画してもらうことを考えている。

望 望 モデル的な個別避難計画が作成できたことは貴重な第一歩であると考える。今後も、福祉専門職と連携してほしい。

### 二 ごみ処理の現状について

中学校給食は、成長期の生徒の栄養管理や食育推進などに大きく貢献しているが、残渣の量が課題と感ずる。令和4年の残渣を減らす取り組みはどのようなものか。

答 食事の重要性や効果に対する理解を深めるために、栄養士が生徒や保護者、教職員に向けて給食だよりや食育通信を発行した。望 望 残渣を減らすためには、残渣の量を生徒や教職員に周知することが大切であると考えるため、給食だよりなどに掲載することに検討してほしい。



給食だよりや食育通信に残渣量の掲載を



上空からの秦野丹沢スマートインターチェンジ(中日本高速道路(株)提供)



## 子どもたちの笑顔こそ明るい未来につながる

創和会 阿蘇 佳一

### 一 子どもの命と未来について

子どもの約13%は抑うつ傾向にあり、安心な医療やおいしい食事が心強いものだが、①小児医療費助成の高校生までの対象年齢の拡大は、②小・中学校の給食費の無償化は、③20歳未満の大麻の検査者数は令和3年には944人と、低年齢化に歯止めがかからない。

望 望 7年前の12倍だが現状は、どうか。①必要な支援を見極めながら国への要望を継続する。②無償化に要する費用は約6億円と膨大で、国による制度化を望むが、子育て支援として総合的に検討し、安全・安心で児童や生徒の喜ぶ運営に注力する。③4年の検挙人員のうち321人が中・高校生と大学生で、低年齢化に歯止めがかからない。

望 望 二 安心して外出できる環境について

落幡バス停付近からサンライフ入口交差点区間の整備はどうか。西側区間の歩道整備は令和10年度が完成目標だが、東側区間の整備も引き続き県に要望していく。ベンチを設置し高齢者でも出かけやすい街を目指してほしい。

望 望 三 希望が持てる社会について

比較的に安価な賃貸で入居希望者が多い公営住宅の取り組みは、②仲間・健康づくりに人気なパークゴルフ場整備の考えは、どうか。①建て替え計画のある県営鶴巻団地は募集を停止しているが、市営住宅が市民の生活の受け皿となるよう取り組む。②整備に向け引き続き調整を進めていきたい。

通勤手当や住居手当の受給状況に関する調査は、平成10年度以来実施しておらず、同様の調査は、令和4年度の実施が2回目となる。条例に次ぐ法規である規則が守られていないと考えるが、近隣市の中には守っている市もある。過去に手当を不正に受給していた職員がいる可能性もあるため、今後、調査を行うべきと考えるが、どうか。

通勤手当、住居手当ともに調査の公平性という観点から鑑みると、確認をするための書類が必要となるため、困難である。意見 職員の良心と正義感に訴え、過去の申請が正しいものであったか、良心に従って再度申告させるべきである。職員には、その正義感があると信じる。応じた職員の申告額が多少違っていたところで、何か問題があるのか。この問題は秦野市の構造的な問題である。市長のリーダーシップに期待する。



## 職員手当の過支給 25年間も規則違反の状態

無所属 吉村 慶一

### 一 職員の通勤手当及び住居手当の不適切な受給について

令和4年度に実施した調査によると、規定の額より多く通勤手当や住居手当を受給していた職員が10人おり、最も多い人は12年7カ月にわたり、26万7千450円も多く受給していたが、その原因は本人の届け出の失念にすぎなかった、とのことである。規則によれば、手当の支給に当たっては随時、事後の確認をすることとなっているが、実施状況はどうか。

通勤手当、住居手当ともに調査の公平性という観点から鑑みると、確認をするための書類が必要となるため、困難である。意見 職員の良心と正義感に訴え、過去の申請が正しいものであったか、良心に従って再度申告させるべきである。職員には、その正義感があると信じる。応じた職員の申告額が多少違っていたところで、何か問題があるのか。この問題は秦野市の構造的な問題である。市長のリーダーシップに期待する。



## 50億円の市税が投入される事業なのに 秦野市民16万人の民意は一体いつ問われるのか

無所属 伊藤 大輔

### 一 戸川地区の都市基盤整備について

市道51号線周辺を通学路とする子どもや親は、これから始まる大型工事や周辺環境の激変を知る由もないと考えるが、市道51号線を通学する児童・生徒数はどうか。小・中学校の児童・生徒数を合わせて約480人が利用している。意見 今後約10年間で、2人に1人の児童・生徒が影響を受けることを見逃してはいけない。



自然豊かな戸川地区の周辺環境は今後約10年間で激変してしまう

北地区以外の市民は直接関係がないと思うかもしれないが、各事業にかかる費用はどのようか。答 これまで戸川土地区画整理事業の支援で生じた費用は約1.1億円で、今後は約5億円と試算する。都市計画道路と矢坪沢水路整備の両事業の合計では約40億円の見込みだったが、矢坪沢の計画見直しなどで2、3割増加を見込む。意見 市長のプロジェクトである中学校給食の実現に約80億円を要しているが、当該事業はそれに次ぐ大型事業である。中学校給食は、市長選挙の争点となり、公約に掲げた市長が当選した時点である程度の民意は得られている。しかし、当該事業は市税が約50億円投入されるのに地権者の3分の2以上である80人程度の合意だけで押し進められようとしている。

地権者以外の市民約16万人の民意は一体いつ問われるのか。答 基本的にこの事業は、本市全体の民意を問うものではない。



手当支給に対する随時調査を

地権者以外の市民約16万人の民意は一体いつ問われるのか。答 基本的にこの事業は、本市全体の民意を問うものではない。

## 議長公務(6月~8月)

議長の主な公務についてお知らせします。より詳細な公務日程については、市議会ホームページでも公開しています。



小菅 基可 議長

- 6月
  - 2日(金) 秦野市交通安全協会第74回通常総会
  - 4日(日) 第35回丹沢ボッカ駅伝競争大会開会式(副議長代理出席)
  - 10日(土) 2023開成町あじさいまつり開園イベント
  - 13日(火) 全国温泉所在都市議会議長協議会第52回総会
  - 14日(水) 全国市議会議長会第99回定期総会
  - 15日(木) 市議会議員共済会第126回代議員会
  - 26日(月) 第14回秦野市観光協会通常総会
  - 30日(金) 第67回秦野丹沢まつり第2回実行委員会
- 7月
  - 5日(水) 第76回秦野たばこ祭第1回実行委員会
  - 18日(火) ~19日(水) 県央八市議会議長連絡協議会定例会・議長研修会
  - 23日(日) 夏休み子ども議場見学会
  - 24日(月) 圏央道・新東名等整備促進大会
  - 25日(火) 鈴川改修整備促進協議会委員会
  - 29日(土) 第59回富士山金太郎夏まつり
- 8月
  - 4日(金) 令和5年度秦野市戦没者追悼平和祈念式典
  - 5日(土) 名水復活宣言20周年記念式典





### 国道246号バイパスの1日も早い全線開通を



#### 一 地域コミュニティの在り方について

問 現在の自治会は、役員のなり手不足と高齢化が課題であるため、若い世代や子育て世代が参加しやすい自治会活動に環境を改善すべきと考えるがどうか。

答 地域の関心を高め、愛着を持ってもらえるような取り組みを自治会連合会の会議などで情報共有を行い、自治会に参加しやすい環境づくりにつなげていきたい。

#### 二 パートナリシップ宣誓制度について

問 一人でも多くの人に利用してもらうため、制度の周知や性的少数者などの多様性に対する理解の促進について、取り組みはどうか。

答 これまで映画会などを実施してきたが、今後も、講演会の開催やチラシの配布など、さまざまな方法による啓発に努めていく。



国道246号の渋滞緩和と諸問題の解決に向けて

### 自治会DXにさらなるメリットを



#### 一 自治会DXの進捗について

問 「自治会の加入状況と※「いちのいち」の普及状況はどのようか。

答 令和5年度は、報告を受けていない自治会もあるが、その自治会には4年度の加入世帯数を入れて算出すると56・98%となり、年々減少傾向にある。また「いちのいち」の普及は現在240自治会中148自治会が活用している。

問 2年12月から3年1月に実施した自治会未加入者へのアンケートをどう分析したのか。

答 自治会に加入しない主な理由は「役員をやりたいくない」が最も多く、その背景には「役員の負担が大きい」、次に多い「加入するメリットを感じない」の背景には、「自治会の活動に関心がない」といった状況があると分析している。



「いちのいち」のより一層の活用を



### 駅前広場直近の今泉土地区画整理事業C地区「早期計画提示」



#### 一 震生湖周辺整備について

問 本市有数の観光地であり、にぎわい創造の拠点でもある震生湖の今後の計画はどのようか。

答 令和5年9月予定の記念事業で新たな橋のデザインを公開する。太鼓橋の架け替えにより湖畔周辺の散策道の整備は一定程度完了するが、今後も来訪者の動向を捉え、震生湖の特性を生かしながら中井町との連携の下、取り組んでいく。

#### 二 秦野駅南(今泉)土地区画整理事業について

問 本事業は都市計画決定から40年以上経過したが、これまでC地区の都市基盤整備方針の地区住民への説明不足を指摘してきた。地元説明会や意向調査、都市計画除外の時期は、着工から完成までの行程表の提示は、どのようか。

答 C地区全体の説明会は開催していないため、関係自治会の役員などに時期や開催方法などを相談する。県は整備方針におおむね了解しているが、住民の合意形成や区域の変更などには地域の協力が必要であり時間を要する。B地区完了後、速やかに本格化できるように早期に整備計画を策定したい。

### 現状把握と実施方法の検討で段階的な部活動の地域移行を



#### 一 安全なまちづくりについて

問 令和5年7月1日の道路交通法一部改正に伴い、電動キックボードなどは免許やヘルメットがなくても16歳以上であれば公道を走行できるが、周知方法はどうか。

答 車体の規格など、基準に該当するものについては新たな交通ルールが適用される。運転者だけでなく、歩行者の安全の観点からも「いちのいち」の安否確認機能を利用できるようにしてほしい。

#### 二 中学校における休日部活動の地域移行について

問 神奈川県中学校体育連盟の規約改正に伴い、令和5年度から秦野市中学校体育連盟が主催する大会に地域クラブが参加可能となり、子どもたちの心身に影響が出ないか危惧するが、対策はどうか。

答 各学校の校長が評議員となる市連盟は、競技や種目ごとの大会参加基準の継続的な見直しと、チーム編成が勝利至上主義とならない手だてなどについて、県連盟に意見書を提出したと報告を受けた。

問 秦野市部活動スタートアップ2025プランが進められているが、現段階の成果はどのようか。

答 市スポーツ協会と連携した市内剣道部では、活動拠点を東部・中部・西部で展開し、兼職兼業を希望した部活動顧問以外は、休日の活動に従事しない体制が図れた。要望 急激な変化に対応できない学校現場と子どもたちを考慮し、段階的な地域移行を進めてほしい。

## 議会の動向

- 5月
  - 30日(火)・議案送付
- 6月
  - 1日(木)・議会運営委員会
  - 6日(火)・市議会第2回定例会議開会【傍聴者数1人】
  - ・代表者会議
  - 8日(木)・本会議(議案審議)
  - ・議会運営委員会【傍聴者数3人】
  - 12日(月)・総務常任委員会【傍聴者数2人】
  - 13日(火)・文教福祉常任委員会【傍聴者数2人】
  - ・予算決算常任委員会(文教福祉分科会)
  - 14日(水)・環境都市常任委員会【傍聴者数1人】
  - 16日(金)・本会議(一般質問)【傍聴者数19人】
  - 19日(月)・本会議(一般質問)【傍聴者数30人】
  - 20日(火)・本会議(一般質問)【傍聴者数44人】
  - ・追加議案送付
  - 23日(金)・議会運営委員会【傍聴者数1人】
  - ・予算決算常任委員会【傍聴者数2人】
  - ・市議会第2回定例会議閉会【傍聴者数4人】
  - ・議会報編集委員会
- 7月
  - 3日(月)・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第2回定例会
  - 14日(金)・代表者会議
  - ・議員連絡会
  - ・議会運営委員会【傍聴者数1人】
- 8月
  - 2日(水)・議会報編集委員会



東海大学との連携など本市ならではの部活動の地域移行を



歩道整備などが計画されている踏み切り付近の様子



### 街路樹の適切な維持管理と倒木に対する予防保全対策を



#### 一 街路樹の維持管理について

問 令和5年4月に南が丘地区内のサクラの木が突風により倒れたが、倒木の原因はどのようか。

答 原因は腐朽菌で根の内部が腐ったため重さに耐え切れず、また3月に根の一部を切断したことが倒木を早めた要因でもある。

問 この木は樹木診断では状態の良いA判定だったと聞か、判定が間違っていたということか。

答 1月の診断はA判定だったが、内部の状態を正確に確認できる方法を実施すべきだったと考える。

問 歩道などの道路構造と密接な関係があるため、従来の判定方法を変えるべきと思うがどうか。

答 精密検査で早期発見につなげ、適切な管理に努めていきたい。

問 令和5年6月に、国は「子ども・子育て支援」において、新たな保育士の配置基準を示した。現在の民間認可保育所などの保育士

問 国は保育士の配置基準を示しているが、本市はどのように検討しているのか。

答 配置基準は保育士が不足している状況を含め、広く検討したい。



4月11日に突風で倒れた南が丘2丁目のサクラの木

用語解説 ※「いちのいち」…小田急電鉄株式会社が開発した、自治会の電子回覧板機能や防犯・防災情報の発信を行うことができる自治会専用のSNSサービスのこと。



# 一般質問

(一般質問は2面・3面・5面にも掲載)



## 三方よしの電子地域通貨を



自民党 野田 今井 実

一 来訪者の受入れ体制について

問 今後、新東名高速道路を利用した車での来訪者や障害のある人など、多くの人が本市を訪れることに伴い、より良い環境を整備することが大切と考えるが、対応はどのようなか。

答 車やサイクリングなど、さまざまな観光ツールで訪れた人に楽しんでもらえるよう、バリアフリーを意識し、自然環境も維持しながら、現状の課題を分析して、方向性を固めていきたい。

要望 新東名高速道路の全線開通に向け、来訪者がわくわくする取り組みや高齢化社会に対応したバリアフリーの整備など手遅れにならないよう着実に準備してほしい。

二 経済の好循環に資する電子地域通貨について

問 周辺市町村に先駆けて本市が電子地域通貨の導入を検討するに至った背景や理由はどのようなか。



電子地域通貨の導入イメージ



## 戸川地区の土地画整理事業と 矢坪沢水路整備事業の市民合意を急ぐ



無所属 佐藤 文昭

一 福祉施策について

問 県は小児医療費助成の対象年齢を小学6年生まで拡大した。その財源を活用し、高校生まで対象を拡大すべきと考えるが、どうか。

答 約7割以上が市の一般財源であり新たな財源確保は難しく、他の子育て支援策などと総合的に判断する必要がある。本来この制度は、地域間格差をなくし、国が一律の制度として実施することが望ましいため、引き続き、国へ制度創設に向けた要望を行っていく。

二 教育施策について

問 令和5年度から「いじめを考える児童生徒委員会」を「秦野子ども未来づくり会議」に名称を変更したが、その取り組みはどうか。

答 15年間のいじめ撲滅活動に加え、子どもの意見を取り入れた生活しやすい学校づくりや、広く社会的に住みよいまちづくりを目指すテーマに拡大して取り組む。

三 環境都市施策について

問 戸川住みよいまちづくりを考える会などから、矢坪沢水路整備事業に関して、環境や景観に最大



上空から見た矢坪沢周辺の様子



## 秦野の魅力向上へ向け、市民や企業のチャレンジにさまざまな視点からサポートを



創和会 福森 真司

一 ふるさと納税について

問 地方創生の取り組みを進めるに当たり、※企業版ふるさと納税のさらなる活用はどのようなか。

答 企業と自治体をつなぐマッチングサイトなどを活用し、多くの企業から支援してもらえよう効果的な周知やPR方法を検討し、継続的に取り組んでいく。

要望 企業版ふるさと納税をきっかけとした地方創生の取り組みは、寄付企業の自治体への進出や移転など、新たなビジネスチャンスの創出につながる。本市の産業振興や市政発展のために市内・市外企業との連携の強化に努めてほしい。

二 アフターコロナを見据えた中小事業者支援について

問 市内事業者が製品・商品の質や技術力、生産性を向上させるための支援はどのようなか。

答 融資制度や利子補給などの金融支援、人材育成、ものづくりの3本柱で事業者支援を行っている。



市内事業者の支援でまちの活性化を (秦野市商工まつりの様子)

また、地域内の経済循環を高めるため、電子地域通貨の行政分野の利活用について検討し、市民・事業者・商工会議所などの関係団体と一体となって推進していく。

要望 商工業の発展は秦野の魅力向上につながり、まち全体にさらなる活気が生まれる。新製品・新技術開発奨励補助金など、市内事業者が新製品や新技術の研究開発を活発化させることができるよう、新たなチャレンジを後押しする支援の拡充に努めてほしい。



## 市民とともに納得感のあるデジタル化の推進を



公明党 山下 博己

一 医療費助成の取組について

問 帯状疱疹は、50歳を境に増加し、80歳までに3人に1人が発症すると言われ、高齢化とともに増加傾向にある。それを予防するためのワクチン接種費用への助成を

行う自治体が増えており、本市においても助成してはどうか。

答 助成に関する問い合わせが増えており、必要性が高いワクチンとしての定期接種化も含め、国の動向や、医師会の意見を踏まえながら今後の取組を検討する。

二 誰一人取り残されないデジタル化の取組について

問 デジタルの利便性を周知し、広く普及させるために、国が進める※デジタル推進委員の取り組みを本市で活用する考えはどうか。

答 大臣が任命し幅広く国民運動として展開する制度と捉えており、本市としてもデジタル推進委員の取り組みの呼びかけを実施する。

問 会津若松モデルを参考に、



## 災いに対して未然の防止策を講じるべし



創和会 原 聡

一 自転車ヘルメット着用の努力義務への対応について

問 着用啓発の活動はどのようなか。

答 広報はだの5月1日号で特集し、紙面アンケートの回答を得たアンケート結果を考慮し、着用啓発も含めたヘルメット購入の補助金制度を創設してはどうか。

答 交通安全キャンペーンなどで啓発を進め、着用しない理由を調査・分析し必要に応じて検討する。

二 特定外来生物・クビアカツヤカミキリの対策について

問 街路樹や公共施設のサクラへの樹木診断や腐朽菌対策を実施し、被害の早期発見につなげ、サクラの適切な管理に努めていきたい。

## 市税収入の分析を政策へつなげる施策を望む



市民クラブ 大野 祐司

一 市税収入について

問 市税収入の構造は、本市の市税収入の特徴や構造を調査・研究し分析した上で、税収増に向けた取り組みの仮説を立て、行政経営

課などと共に、その取り組みを市長などに政策提言すべきと考えられるか、どうか。

答 市税収入の構造は、税目別のデータひとつにも、本市ならではの特性がある。市税を取り巻くさまざまなデータを精査することにより、本市の強みや弱みを見つけて出すことができ、施策などに生かすこともできると考える。市税を所管する税務3課においてデータを整理し、多角的な視点で分析を行い、その結果を庁内で共有して、政策やまちづくりに生かすよう取

進めてはどうか。

答 市民にとって便利で優しい市役所となれるよう、会津若松市の成功事例を参考にしながら市民とともにデジタル化を進める。

要望 会津若松モデルのようにデジタル化によって地域や、市民、企業にメリットがあり、市民に納得感のある流れがつけられることを期待する。誰一人取り残されないデジタル化を本市としても丁寧

にを進めていくことを要望する。



命を守るため自転車ヘルメット着用の啓発を



移住お試し住宅「miraie」

### 用語解説

※企業版ふるさと納税…国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄付を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みのこと。  
※デジタル推進委員…デジタル機器・サービスに不慣れな人などに対し、講習会などでマイナンバーカードやマイナポータルの利用方法などについて教えることや利用のサポートを行う人のこと。





### 市民の声に耳を傾け、市民が安心して暮らせる秦野を



公明党 中村 英仁

を促すなど、有効に活用できるよう取り組んでいく。

#### 一 医療費削減の取組について

問 医療費削減の一つとして糖尿病を予防することが考えられる。3年以内に発症する確率を表示できる糖尿病リスク予測ツールを活用して、本市でも糖尿病の予防事業を行ってほしいと考えるが、どうか。

答 糖尿病リスク予測ツールの内容をよく確認して、ホームページなどへのリンクの掲載や、特定健康診査の結果を通知する際に利用

#### 二 公園の有効活用について

問 今後の公園運営は市民ニーズに添えていくことが重要と考える。以前質問した※インクルーシブ遊具のほか、今回市民から相談があった、ドッグランや幼児用遊具の設置に対する考えはどうか。

答 要望のあったドッグランや幼児用遊具、インクルーシブ遊具については、地区的なバランスを見ながら、地域関係者の要望を確認し、検討していく。

#### 三 ヤングケアラーの支援について(その4)

問 令和4年に、中学3年生を対象として行われた実態調査の結果はどのようか。また、調査を踏まえて今後、どのように取り組んでいくのか。

答 自分がヤングケアラーに当てはまると回答した生徒は2・3%だった。今後は関係機関と連携し、早期発見につなげていきたい。



幼児用遊具が設置されている  
じょうや児童遊園地

### 秦野の文化資源を活用しにぎわいの創出を



公明党 横山むらさき

#### 一 防災・減災対策について

問 ①近年激甚化する豪雨災害に対する避難体制の強化や危機意識の醸成は、②年々増加する熱中症による死者は8割以上が高齢者であり、エアコントラブルで命に危険が及ぶこともある。高齢者の熱中症予防には介護や福祉関係者との連携が必要と考えるが、どうか。

答 ①土砂災害や浸水被害の警戒区域の確認と併せ、※マイタイムラインの作成と正しい情報の入手方法の研修を行い、確実な避難行動につなげる。また、危険水位の周知方法については高さを考慮して検討する。②熱中症予防には適

#### 二 地域医療の充実について

問 きめ細かな地域医療の充実のため、かかりつけ医の普及に向けて本市の推進状況はどのようか。

答 コロナ禍でかかりつけ医の必要性が認識された。限られた医療資源の中で制度化の必要性を医師会などの意見を聞いて検討する。

#### 三 にぎわい創出について

問 ①前田夕暮生誕地入口の標柱の改善は、②鶴巻あじさい遊歩道中継地の排水機場整備は、どうか。

答 ①生誕140周年記念事業の

## 陳情・意見書

### 地域や経営の実態を踏まえたきめ細かな最低賃金額の審議を

令5陳情第3号 神奈川県の最低賃金額審議に関する陳情

▼願意

最低賃金の決定に当たり、客観的なデータを基に公労使により納得ある議論を尽くし、県内同一額の最低賃金制度は、地域や経営の実態を踏まえた制度として早期に再構築することについて、国と県に意見書を提出してほしい。

#### ▼付託委員会

環境都市常任委員会

#### ▼委員会での主な意見

意見 国において、最低賃金の都道府県間の格差縮小や、賃上げの動きがある中、本陳情を採択する

中小企業や小規模事業者はコストを十分に価格転嫁できず、経営が厳しくなる可能性があるため、採択し意見書を提出すべきである。

▼採決の結果  
委員会 採 択(賛成多数)  
本会議 採 択(賛成多数)

▼要旨  
最低賃金の決定に当たり、客観的なデータを基に、特にコストの増加分を十分に価格転嫁し得ない中小企業などの支払能力について、公労使により納得ある議論を尽くし、最低賃金制度は地域や経営の実態を踏まえたきめ細かな制度として早期に再構築するよう、国と県に意見書を提出するもの。

#### ▼採決の結果

本会議 採 択(賛成多数)  
本会議 採 択(賛成多数)

▼本会議での賛成討論  
教員補助員を増やし、公平な教育を行うことが大切であると考え

#### ▼採決の結果

委員会 採 択(賛成全員)  
本会議 採 択(賛成全員)

#### ▼要旨

小学校の段階的な35人学級への移行を踏まえ、全ての子どもたちの教育的ニーズに応じたきめ細かな支援体制と、安全・安心な教育環境の充実を図るため、中学校の少人数学級の早期実現、スクール・サポート・スタッフの常勤化など教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元することなどについて、国に意見書を提出するもの。

#### ▼採決の結果

本会議 採 択(賛成多数)  
本会議 採 択(賛成多数)

#### ▼願意

小学校35人学級の段階的移行や中学校における少人数学級の実現、教職員定数改善と教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充について、国に意見書を提出してほしい。

#### ▼付託委員会

文教福祉常任委員会

#### ▼委員会での審査状況

委員会としては「教職員の負担軽減と子ども向き合う時間を確保するためには、スクール・サポート・スタッフを常勤化することが必要であり、その実現に当たっては、義務教育費における国庫負担割合を拡充することが、子どもたちの豊かな学びを保障することにつながる。こども家庭庁が創設された好機を逃すことなく、採択し、国へ意見書を提出すべきである。」との意見の一致を見た。

#### ▼採決の結果

本会議 採 択(賛成多数)  
本会議 採 択(賛成多数)

### 議員定数に関する陳情審査は議会運営委員会から中間報告

令和5年5月に提出された議員定数の削減と堅持に関する陳情2件は、6月8日の議会運営委員会において一括して審査され、定例会議の期間後も引き続き審査を行うこととなりました。その審査の経過を6月23日の本会議で中間報告しました。

令5陳情第4号 市議会議員定数の削減の陳情

▼願意  
議員定数を24人から22人とし、最終的には20人にすること。

令5陳情第7号 秦野市議会議員定数現行24人の堅持を求める陳情書

▼願意  
議員定数について、現行24人を堅持すること。

▼付託委員会  
議会運営委員会

#### ▼委員会での審査状況

委員会としては一市民サービスの向上につなげるには、議会改革や円滑な議会運営に資する議員定数について、さらに議論を重ねる必要があるため、令5陳情第4号と令5陳情第7号は、定例会議の期間を終えても審査を継続すべきである。」との意見の一致を見た。

## 開催しました 夏休み子ども議場見学会



令和5年7月23日(日)に7回目となる夏休み子ども議場見学会を開催し、小学3年生から6年生の児童と保護者12組26人に参加いただきました。当日は、正・副議長との名刺交換、議員体験、施設見学、正・副議長への質問などが行われました。今後も市議会を身近に感じていただけるよう取り組みを進めていきます。

用語解説 ※インクルーシブ遊具…障害の有無に関わらず、あらゆる子どもが安全に遊べる遊具。 ※マイタイムライン…台風などの接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理して、自ら考え命を守る避難行動の一助となるもの。 ※審査未了…委員会に付託された案件が審査期間中に採決に至らず、審査の継続も行わないもの。



議案審議

議案審議は1面にも掲載

スマートフォンで印鑑登録証明書が取得できる規定に改正

議案第26号 秦野市印鑑条例の一部を改正することについて

要旨

個人番号カードに加え、スマートフォンに搭載された利用者証明用電子証明書を使用して、コンビニエンスストアなどに設置されている端末機から印鑑登録証明書を取得できることとするため、改正するもの。

なお、この条例は公布の日から施行するもの。

付託委員会

総務常任委員会

委員会での主な質疑・要望

問 現在、スマートフォン用の電子証明書が搭載可能となる機種はAndroid端末に限定されているが、国内シェアが高いにもかかわらず現在未対応となっている。iOSについてサポートはどうか。

答 国が、iOSを開発する企業に対して搭載の働きかけを行っている状況である。具体的な開始時期が公表され次第、適切に周知をしていきたい。

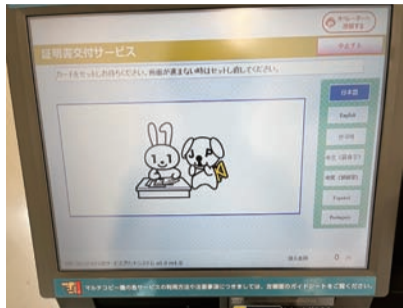
要望

特定小型原動機付自転車などに対応した税率区分を創設

議案第27号 秦野市市税条例の一部を改正することについて

要旨

地方税法の一部改正により、軽自動車税について、原動機付自転車のうち、特定小型原動機付自転車の税率を定めることや、電気軽自動車など、一定の環境性能を有するものとして地方税法で定める軽自動車のうち、令和4年度から7年度までに新規に車両の番号登



コンビニエンスストアに設置されている端末機の画面

性がさらに向上していくものと考えられる。証明書発行業務がある関係各課で連携を図り、行政経営的な視点も取り入れながら、運用を検討してほしい。

採決の結果

委員会 原案可決(賛成全員) 本会議 原案可決(賛成多数)

南矢名陸橋の耐震補強に向け工事契約を締結

議案第29号 工事請負契約の締結について

要旨

令和元年度から5期に分けて実施している工事の5期目となる南矢名陸橋りょう修繕耐震補強工事(令和5年度継続費設定)の請負契約を締結するもの。

付託委員会

総務常任委員会

委員会での主な質疑

問 今回の工事は、難所となる線路上の橋の修繕耐震補強であることから、幅広く事業者の入札を促すために、要件を前期までと比べて緩和したもの、参加は1者であった。その理由はどのようか。

答 本案件は、線路上のため施行時期や時間を鉄道事業者と調整する必要があるので、特殊性から、一般的な工事と比較し、工事の入札者は少なくなったものと考えられる。

採決の結果

委員会 原案可決(賛成全員) 本会議 原案可決(賛成多数)

佐藤直樹教育長を再任

議案第33号 秦野市教育委員会教育長の選任について

要旨

佐藤直樹教育長の任期が令和5年8月31日に満了するため、同教育長を再任するもの。

採決の結果

本会議 同意(賛成全員)



佐藤直樹教育長

若者が所有する特定小型原動機付自転車の車両区分が創設されるため、走行時の安全な利用方法や、ヘルメットの努力義務などの周知が必要と考えるが、見解はどうか。

答 神奈川県交通安全対策協議会が作成した交通ルールや安全利用が記載されたチラシを市民税課窓口に記載し、啓発に取り組んでいる。今後も、関係機関と連携して、周知していきたい。

採決の結果

委員会 原案可決(賛成全員) 本会議 原案可決(賛成多数)

物価高騰対策に係る補正予算を可決

議案第31号 令和5年度秦野市一般会計補正予算(第2号)を定めることについて

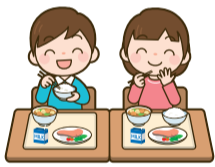
要旨

物価高騰の影響を受けている市民と事業者の負担を軽減するため、国の地方創生臨時交付金を活用して実施する事業として、歳入歳出それぞれ7億442万2千円を追加するもの。

採決の結果 本会議 原案可決(賛成全員)

補正予算の概要

日々の暮らしを守る施策	低所得世帯支援給付金給付事業費	5億5,737万5千円	物価高騰に直面し、影響を特に受ける住民税非課税世帯などを支援するため、1世帯当たり3万円を給付
	障害福祉施設等支援事業費ほか1事業	5,704万5千円	食料費の高騰が続いていることから、その影響を受けている事業者(障害福祉施設、高齢介護施設)の負担軽減を図るため、食料費の高騰相当分を支援
	民間保育所等支援事業費ほか3事業	9,000万2千円	食料費の高騰が続いていることから、保育所などや小・中学校で提供する給食の質と量を維持するため、食料費の高騰相当分を支援



令和4年度政務活動費の収支報告をお知らせします



政務活動費とは、議会の審議機能の強化や活性化を目的とした議員の調査・研究、その他の活動を行うために経費の一部として交付されるものです。本市では、会派又は会派に所属しない議員に対して、議員一人当たり月額42万円(月額35,000円)を交付しています。

※ 収支報告書や領収証など証拠書類の写しは、市議会ホームページに掲載しています。また、市役所本庁舎5階の議会図書室でもご覧いただけます。



こちらから

令和4年度 政務活動費収支報告

項目	会派等	創和会	自民党・新政クラブ	市民クラブ	公明党	自民党秦野	無所属クラブ	日本共産党 秦野市議会議員団	無所属の会	伊藤大輔 議員	佐藤文昭 議員	吉村慶一 議員	古木勝久 議員
収入		2,520,000	1,260,000	1,260,000	1,260,000	1,260,000	315,000	210,000	490,000	420,000	315,000	315,000	70,000
政務活動費		2,520,000	1,260,000	1,260,000	1,260,000	1,260,000	315,000	210,000	490,000	420,000	315,000	315,000	70,000
支出		1,813,034	1,254,624	0	567,199	677,759	315,000	193,622	417,551	326,708	180,665	315,000	29,378
研究・研修費		36,000	173,790	0	18,000	18,000	0	0	1,000	4,000	4,000	0	4,000
調査旅費		305,930	317,670	0	226,695	0	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費		194,829	61,213	0	27,953	29,862	3,449	5,577	0	0	165,182	0	16,978
資料購入費		406,175	430,051	0	273,726	306,497	1,551	0	1,551	50,238	11,483	0	8,400
会議費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広報費		870,100	271,900	0	20,825	323,400	310,000	188,045	415,000	272,470	0	315,000	0
広聴費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要請・陳情活動費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
残額(注)		706,966	5,376	1,260,000	692,801	582,241	0	16,378	72,449	93,292	134,335	0	40,622

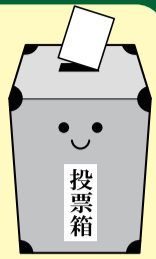
※注 残額は市に返還されます。  
※令和4年6月9日に露木順三議員が逝去し、所属議員が1人となったため「日本共産党秦野市議会議員団」が解散  
※令和4年6月30日付で古木勝久議員、木村眞澄議員が「無所属クラブ」を退会し、所属議員が1人となったため解散。同年7月1日付で古木議員と木村議員で「無所属の会」を結成  
※令和5年1月31日付で木村眞澄議員が辞職し、所属議員が1人となったため「無所属の会」が解散  
※令和5年3月31日付で、谷和雄議員が辞職し、「創和会」を退会



# 秦野市議会 4年間の振り返り

市議会では年間を通して市民生活向上のため、さまざまな活動をしています。令和元年9月の任期開始から間もなく4年が経過し、任期満了を迎えるに当たって、市議会のこれまでの活動などを「数字」に着目してご紹介します。

## 投票日 8.27



任期満了に伴う市議会議員選挙が、8月20日告示、8月27日投開票で行われます。

議員定数

24人

議員報酬(議長)

月額 556,000円

議員報酬(副議長)

月額 484,000円

議員報酬(議員)

月額 444,000円

※新型コロナウイルス感染症による市民生活や地域経済への影響を勘案し、令和2年5月1日から4年3月31日まで議員報酬と期末手当を減額する特例措置を行いました。

### 本会議 401日

●議案の審議のほか、市長などに対して、代表質問や一般質問を行っています。



審議した議案など

299件  
(報告は除く)

議員提出議案

28件

委員会提出議案

16件

●議案とは、議会の意思決定を必要とする市の重要な案件のことです。総合計画における基本構想や条例の制定・改正、予算、決算など、提出された議案は全て議会でチェックした上で、議決します。

### 常任委員会 178回

●委員会審査に重点を置いた議会運営をしており、それぞれの委員会で詳しく議案などを審査した上で、その結果を議長に報告しています。



### 議会報告会 3回

●議会活動や市政に対する意見などをお聴きする機会として議会報告会を開催しています。

【令和4年度実績】

総務常任委員会：防災アドバイザー、※学生団体E4と「女性と若者目線でこれからの防災を考える～各世代の災害に対する意識の高揚～」をテーマに意見交換

文教福祉常任委員会：ぽけっと21すえひろ利用者(子育て世代)と「エイジフレンドリーシティ」をテーマに意見交換

環境都市常任委員会：交通事業者、地元店舗、商店会と「切れ目ない交通サービスの充実を通じたこれからの地域経済の活性化を考える」をテーマに意見交換

### 陳情審査 72件

●陳情とは、国や県、市などが所管する事項について、実情を述べて適切な措置をとるよう議会に要望することです。審査は、原則として、所管する委員会に付託し、最終的に本会議で結論を出します。



### 出前講座 4回

### 夏休み子ども議場見学会 3回

議会や議員の役割を知ってもらい、若い世代のまちづくりへの関心を高め、地域の課題に目を向けてもらうきっかけづくりとして、高校生などを対象とした出前講座を実施し、夏休みの期間には小学生を対象とした議場見学会を開催しています。

### 所管事務調査 25日間

●他自治体の先進的な取り組みなどを学び、市政に生かすため実施しています。

【令和4年度実績】

総務常任委員会：防災・減災の取り組みについて(福島県白河市)など

文教福祉常任委員会：子ども・若者ケアラーへの支援の取り組みについて(兵庫県神戸市)など

環境都市常任委員会：地域公共交通活性化について(香川県三豊市)など

議会運営委員会：議会改革等の取り組みについて(大分県中津市)など



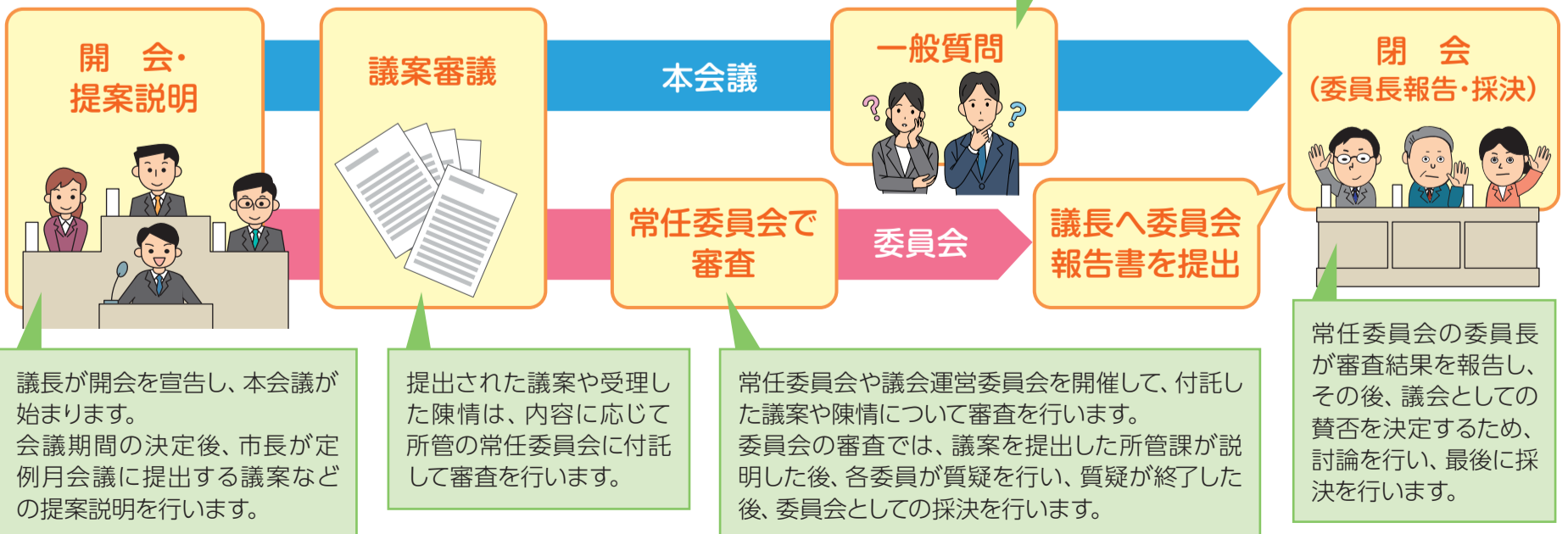
## 会議が開かれていない日は何をしているの？

本市がよりよいまちとなるよう、会議が開かれていない間も議員は日々活動しています。「調査や研究」、「研修への参加」、「広報・広聴活動」、「市民活動などへの参加・支援」など、市の課題や市民の声を把握し、市政に反映させるために取り組んでいます。



## 定例会議の主な流れ

議員が市政について、日頃の議員活動を通じての課題や感じていることを質問し、執行部が答弁を行います。



用語解説 ※学生団体E4…公益社団法人秦野青年会議所が開催した「秦野高校生議会2018」の参加者有志が中心となって立ち上げた高校生団体。Eager(熱心に)、Enjoy(楽しく)、Effort(努力)、Effect(影響)の頭文字を表している。



<第2回(6月)定例会議の審議結果一覧表>

○：賛成 ●：反対

Table with columns for district (区分), proposal number (議案等番号), proposal name (議案等名), decision result (採決の結果), and voting members (創和会, 自民党・新政クラブ, etc.). Includes QR code for details.

Advertisement for 'SAFETY SMILE' fire equipment inspection and construction services by '株式会社 橋本防災設備'.

Advertisement for online streaming of the council meeting, including QR code for access.

Advertisement for 'スリージーインドアゴルフ' (3G Indoor Golf) at '秦野駅前店'.

Advertisement for recruitment of PR services for 'はだの議会だより'.

◆次回の議会だよりは、新しい議会構成をお知らせする臨時号として、10月中旬に発行する予定です。